ワーク ライフ バランス 論

ワーク（仕事）とライフ（生活）のバランス（調和）をいかにはかるかが
今、日本社会の大きな課題になっています。
その背景には、深刻な少子化問題があります。
また、とくに男性には、仕事にのめり込み、家事や地域などに
目を向けるゆとりすらなくしている人が少なくありません。
一方、女性は依然として家事の主な担い手であり
その多くが出産や育児で仕事を辞めているのが現状です。
そのような状況を改善し、男女がともにバランスよく
仕事、家庭、地域にコミットできるような社会をめざすのが
ワーク・ライフ・バランスです。
そうした社会を実現するには、どんな問題や課題があるのか。
この特別講義では、毎回、第一線で活躍されている多彩な講師をお招きし
専門的な立場から、お話をしていただきます。
この講義は人間社会学部の授業ですが、市民の皆さんもどうぞ御参加ください。
関心のある回だけでもかまいません。

実践女子大学　人間社会学部　特別講義

- 2009 年度前期　水曜日 5 限（午後 4 時 30 分ー6 時）　全 13 回
- 大坂上キャンパス　4 館 411 教室
- 講師やテーマ、日程、会場は変更になる場合があります。
- くわしくは、実践女子大学人間社会学科ホームページをご覧下さい。
- 参加費：無料（下記にお申し込みください）

①<4月15日> ワーク・ライフ・バランスとは何か
人間社会学部教授・内閣府男女共同参画会議議員　鹿嶋　敬

②<4月22日>国はワーク・ライフ・バランスをどう推進するのか−男女共同参画の視点から
内閣府男女共同参画局調査課長　酒巻　哲朗

③<4月29日> ワーク・ライフ・バランスの取り組み推進
ーダイバーシティの一環として、P&Gはどう取り組んでいるか
P&G エクスターナルリレーションズ マネージャー　岩原　雅子

④<5月13日> 男性が育児休業を2回取ってみて
日本アイ・ビー・エム ソフトウエア事業 IODテクニカル・セールス　河村　忠明

⑤<5月20日> 企業はワーク・ライフ・バランスにどう取り組むのか −旭化成の場合
人財・労務部・EO推進室部長　田中　恭代

⑥<5月27日> ライフ・フレンドリー企業中心の投資信託
グッドバンカー取締役・SRIアナリスト　朝倉　万喜子

⑦<6月3日> 労働組合はワーク・ライフ・バランスにどう取り組むのかー電機連合の場合
電機連合中央執行委員　冨高　裕子

⑧<6月10日> シングルマザーとワーク・ライフ・バランス
NPO法人 しんぐる・まざあず・ふぉーらむ理事　赤石　千衣子

⑨<6月17日> 職場の均等推進の必要性
厚生労働省雇用均等・児童家庭局 雇用均等政策課長　安藤　よし子

⑩<6月24日> 非正規雇用者の均等処遇ー労働組合の立場から
日本労働組合総連合会非正規労働センター総合局長　龍井　葉二

⑪<7月1日> 均等推進ー帝人グループの試み
帝人クリエイティブスタッフ 人財部ダイバーシティ推進室長　黒瀬　友佳子

⑫<7月8日> 働くこととは何か、どう働けばいいのかー過労死問題の視点から
未定

⑬<7月15日> まとめ
人間社会学部教授・内閣府男女共同参画会議議員　鹿嶋　敬

お申し込み・お問合せ先
〒191-8510 東京都日野市大坂 4-1-1
実践女子大学 人間社会学科研究室
042-585-7802　jinsha@jissen.ac.jp